

## 令和3年度沖縄県総合教育会議 報告事項

所管部局：子ども生活福祉部

件名	ヤングケアラーに関するアンケート結果について
内容	<p><b>【アンケート概要】</b></p> <p>(1) 目的：ヤングケアラーと思われる子どもの概数把握及びアンケートを通じた関係者の認識向上（※アンケート調査期間令和3年11月～12月）</p> <p>(2) 主な対象者（機関）：小（5・6年）中高等学校の学級担任である教職員 合計 4,380名</p> <p><b>【アンケート結果】</b></p> <p>(1) 回答状況：アンケートの回答率は<b>70.4%</b>（有効回答数3,082／4,380名）</p> <p>(2) 主な調査結果</p> <p>①ヤングケアラーの概念認識 「知っている」71.8%、「初めて知った」・「知らない」28.2%</p> <p>②ヤングケアラーと思われる子どもの把握状況 「現在いる」22.2%、「現在いない」61.2%、「把握していない」16.5%</p> <p>③ヤングケアラーと思われる子どもの人数及び割合 人数：約1,088人（うち小学校5・6年239人、中学校508人、高校341人） 割合：0.86%（約1,088人／児童生徒総数126,939人）</p> <p>④ヤングケアラーと思われる子どもの主な状況（複数回答） 1位：家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている（43.6%） 2位：障がいや病気のある家族の代わりに家事をしている（13.8%） 3位：目を離せない家族の見守りや声かけをしている（7.0%） 家計を支えるため、アルバイト等をしている（7.0%）</p> <p>⑤ヤングケアラーと思われる子どものうち学校生活に影響がでている人数 人数：約523人（うち小学校5・6年119人、中学校257人、高校147人） 割合：48.1%（約523人／ヤングケアラーと思われる子ども1,088人）</p> <p>⑥学校生活への影響（複数回答） 1位：学校を休みがちである（20.2%） 2位：精神的な不安定さがある（15.0%） 3位：遅刻や早退が多い（13.2%）、学力が低下している（13.2%）</p> <p><b>【今後対応等】</b> アンケート結果については、2月10日（木）に青少年・子ども家庭課HPにて公表する予定。</p>